

# 「いわて高等教育コンソーシアム 震災復興支援・地域研究フォーラム ～復興の先に～」

【開催日】

平成28年 **11月26日** 13:30～  
**土曜日**

【場 所】

〔2F 末廣の間〕

**ホテル東日本盛岡**

## 入場無料

### 【趣 旨】

平成23（2011）年3月に発生した東日本大震災から、早5年8ヶ月が経過した。その間、「復興」「絆」といった言葉のもとに、官・民あけての様々な事業や支援がなされてきている。被災後、いわて高等教育コンソーシアムは、「岩手の教育及びコミュニティ形成復興支援事業」というプログラムを文部科学省に申請し、「大学等における地域復興のためのセンター的機能整備事業」として採択された。このプログラムの柱の一つが「地域貢献事業」である。この事業は、被災地の要望に対応すべく、コンソーシアムの連携大学の特色を活かした横断的な研究チームを立ち上げ、要望事項の調査・研究を行い、その結果を被災地自治体の復興計画や企業・住民に還元し、地域復興に役立てることを目的としたものである。

これまでに、いわて高等教育コンソーシアム地域研究推進委員会は、連携大学の中に「文化財チーム」「図書館支援チーム」「教育支援チーム」の3つのチームを作り、被災地の自治体・学校と連携を図りながら、平成24年から平成27年にかけて直接的な被災地支援活動と、復興計画等に役立つ提言をするための調査・研究を実施してきた。

「文化財チーム」は、専門家による各種調査を行い、今回の震災で考えさせられた文化財保存等のあり方について、毎年シンポジウムを開催し提言をしてきた。「図書館支援チーム」は、多くの教職員・学生を被災地の図書館に派遣して、書の修復・郷土資料の救済活動のみならず、技術講座を開くなどして図書館再開に向けて提言を行ってきた。「教育支援チーム」は、教職員統導のもと、盛岡大・岩手大の多数の学生ボランティアを被災地の小学校に派遣し、当該小学校教員と連携を取りながら、生徒の学習活動を支援してきた。その支援を通して、大学教職員による被災地学校の状況調査や、それに基づく教育上の提言を行ってきたところである。

「復興」は、まだその途上にある。また、その先がなかなか見えてこない。3つのチームそれぞれの支援活動の過程と提言から見えてきた新たな課題に、これから先、どのように取り組んでいけばよいのであろうか。「復興の先に～」と銘打った本シンポジウムで、このことについて改めて考えてみたい。

## 郵送か FAX でお申し込みください

締切日：平成28年11月21日（月）

郵送先：〒020-0694 滝沢市砂込 808

盛岡大学地域連携センター

F A X : 019-688-5577

氏 名(ふりがな)	所 属(職 名)	情報交換会※
		参加 ・ 不参加
		参加 ・ 不参加
		参加 ・ 不参加
ご担当者様	電 話:	FAX:
	e-mail:	

※情報交換会（16：50～）参加の場合、当日受付にて参加費 5,000 円を申し受けます。